

28AB-am009S

アルキニルアジリジンの 1,5-水素移動反応を鍵とする置換ピロリンの立体選択的
合成

○水口 智貴^{1,2}, 和田 文恵², 中山 淳², 難波 康祐², 吉田 昌裕¹ (¹徳島文理大薬, ²徳島大
院薬)

【目的】含窒素五員環は様々な天然物や医薬品に含まれる重要な骨格であるが、その立体化学を制御し合成することは困難な課題であり、効率的な合成法の開発が望まれている。最近我々はアルキニルアジリジン **1** を加熱すると 1,5-水素移動が進行し、アレニルイミン **2** が立体選択的に生じることを見出した¹⁾。今回、生成するアレニルイミンを合成素子として活用した窒素五員環化合物の立体選択的合成を試みた。

【実験・結果】アレニルイミン **2** に対し DIBAH を作用させてイミン部を還元後、触媒量の銀錯体を作用させたところ、5-endo 型の分子内環化が進行し、置換ピロリン **3** を立体選択的に得ることに成功した。様々な反応基質を用いて一般性の検討も行ったので併せて報告する。

